

知
足
不
屈

ガバナー月信

Vol.9

2003.3.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yono.gov@kibounoie.or.jp

http://www.kibounoie.or.jp/gov

題字 矢野 亨



3月はローターアクト月間です

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
ローターアクト月間に寄せて	7
第2回会員増強・退会防止と	
地区拡大セミナー	11
今、ロータリーは何故増強拡大なのか	12
セミナープログラム	16
ロータリー広報担当と	
八社会の懇親会報告	19
GSE派遣チーム壮行会	20
国際親善奨学生申請の募集	21
茶の湯倶楽部 第6回研修会	24
マイトリー学園にロータリー文庫開設	25
委員会報告	26
文庫通信	28
新会員紹介・訃報	29
出席報告、3月の予定	30



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ
3月はローターアクト月間です。

2840地区

ガバナー 矢野 亨

現在RID2840地区のローターアクト数は47クラブ中12クラブです。この数はなかなか増えません。その理由は一体どこにあるのでしょうか。

ローターアクトの精神は、ロータリークラブと同じ、親睦と奉仕にあることを言うを待ちません。私は若い人たちによって構成されるローターアクトこそ、その奉仕活動に新たな魅力を創造して欲しいと考えております。

ローターアクトが我が国に移入された当時は、ボランティア活動というものは、それ

ほど盛んではありませんでした。従って、ローターアクトの奉仕活動と言うものは、ささやかであってもそれだけに意義をもち、世間から注目もされたようです。

しかし、現在の社会では、ボランティア活動はいたるところで一挙に花開いた感があります。群馬県でもNPO活動が200弱を数えております。

ローターアクトの奉仕活動も、うかうかすると、他のボランティア活動の中に埋没する恐れがあり、やがて青年たちを惹き付ける魅力が次第に消失してゆく危険性すら指摘されるのです。

私は、青年の限りない可能性を信じたいのです。

あるローターアクトは、その地域で独自の奉仕活動を見つけてきては、すぐそれを実践しているようです。親クラブであるロータリークラブの社会奉仕委員会は、ローターアクトの活動に引きずられる形で、後追い奉仕をしているという報告を受けた事があります。これこそ、ローターアクトの一つのあるべき姿でもあるように思えるのです。

私は、今年はローターアクトの海外研修

題字によせて

知足不辱（老子）

足るを知って、辱められず

足るを知る事は人として最も大切な事である。前号の月信で紹介した、良寛和尚の漢詩はまさしく其の境地を述べたものであるう。

囊中に僅かの米と、一束の薪があれば、生きていくのに十分足りる。

この足るを知らぬものは、欲望を揚げ、ついには破滅に至り、辱めを受けることになるという警句である。

は中止して、出来るだけ大勢の会員の参加が得られるように、国内での団体宿泊奉仕活動の案をすすめたのですが、大勢が海外研修を希望したようですので、必ず向こうで奉仕活動をするをお願いしました。幸いタイのバンコックのロータリークラブのお世話で奉仕活動することになりましたので、その帰朝報告を楽しみにしているところです。

ロータリーの奉仕と地域福祉(其の八) (小林提樹、糸賀一雄、草野熊吉)

前号で社会福祉の実践者として歴史的にも名を留める留岡幸助、石井十次の2名の方をご紹介いたしました。この2名の方はいずれも明治、大正の時代を生き抜いたロータリーで言う「超我の奉仕」の実践者でありました。しかも2人とも熱心なクリスチャンです。私は残念ながら、クリスチャンではありませんが、つくづくとキリスト教の偉大さに心打たれるものがあります。

ここで、私は太平洋戦争後の実践者として、重症心身障害児のために生涯を捧げた方を紹介させていただきたいと思えます。

その前に重症心身障害児について簡単な解説をいたします。障害児は、肢体不自由児と、知的障害児の2種類に大きく分けられます。知能が正常で手足の機能に障害を持つ児が肢体不自由児で、手足の機能が正常で知能に障害を持つ児が知的障害児であります。肢体不自由児は、かつて脊髄性小児麻痺(ポリオ)の患者が多かつ

たのですが、これはワクチン投与によって我が国では、ほとんど発生が防がれています。

ロータリーが現在行っているポリオプラス事業の募金は、地球上からポリオの発生を終焉させようとする努力であります。

重症心身障害児というのは、肢体も障害を持つし知能も障害を持つ、いわゆるダブルハンドの児のことを言うのです。この重症心身障害児の発生の主な原因は、3ないし4割は先天性のもので、6ないし7割は分娩前後のトラブルによると言われています。分娩に関するトラブルの大半は、難産による仮死分娩にあると言われております。人間の脳に酸素供給が3分間途絶しますと、脳は回復不能のダメージを受けると言われています。これが、いわゆる赤ちゃんの脳性麻痺の原因であり、肢体及び知能の発達にダブルの厳しい障害を残す事になります。その他に、新生児期の重症感染症や、ワクチンの副作用による脳炎等がありますが、医学の進歩によって、その発生率は幸い減少の傾向を示しています。それでも尚、約1000の出生に対し1人の割合で重症心身障害児の発生があるとされています。一旦家庭のなかに重症心身障害児が生まれまると、家族の嘆き、介護の負担は大変なものがあります。この重症児の発生事故が、現在我が国の医療事故訴訟の最も大きいものの一つであることを考えてみても当然のことと思います。

私が今なぜ「重症心身障害児」を取り上げるかと言いますと、私の長女が戦後間



もなく群馬大学の小児科で重症肺炎となり、幸い奇跡的に一命を取り留めましたが、脳性まひとなりました。現在私達夫婦が重症児の施設「希望の家療育病院」を創立したのもそのためであります。

我国が取り上げた数々の福祉政策の中で、ともすればあまりにも障害が重いために社会の底辺に置き去りにされる運命にあったものが、これから挙げる数名の方がたの《奉仕の理想》に燃えた献身的な努力によって、欧米諸国にも誇りうる重症心身障害児対策が作られてきたのです。私は現在、全国の公私立の重症心身障害児施設101施設の団体である、「社団法人日本重症児福祉協会」の会長をさせていただいているので、この問題について、些かスペースを割いてみたいと思います。

私は昭和61年から10年間、日本医師会の常任理事として、わが国の医療、福祉のあり方について、厚生省との折衝の中で、議論してきましたが、その大きなテーマの一つは、医療と福祉の統合を如何にするかということでありました。

幸い、老人医療と老人福祉の統合は、平成12年から始まった「介護保険」によって大きな一歩を踏み出したといえましょう。一方重症心身障害児に対する医療と福祉は、アメリカや西欧先進国と比べて全くゼロからのスタートというべく、太平洋戦争が終わり、敗戦の砂漠の中から、ほんの一握りの先人の犠牲的行

動、「叫び」によって動き始めたといっ
てよいでしょう。その人たちの努力によ
って障害児に対する「医療」が行われ
るようになり、「福祉」の必要性が認め
られるようになったのです。

やがて、障害児に対する「医療」と「福
祉」の統合は、いまから約20年ほど前か
ら、ようやく制度としてわが国に誕生し
たのです。これは西欧諸国には見られな
いもので、まさに《誇りうる》ものといえ
ましょう。以下、既に故人になられました
が、ほんの一握りの先人であり、パイオニ
アである3名のかたを紹介いたします。
先ず、涙ぐましい血の出るような努力を
して下さり「重症児の親」といわれる、小
林提樹先生について述べてみたいと思
います。

小林提樹（1908～1993）

慶応大学医学部を出て、昭和13年から
慶応大小児科外来で診療中、重症心身障
害児に出会った。重症児が当時の医学の
対象から全く外れており、福祉の制度か
らも見捨てられている現状に驚き、この
悲しむべき現状をいかにしても改善しな
ければならないと考えた。

昭和23年以降日赤産院小児科に勤務
しながら、重症児対策に奔走するも、同
年に制定された《児童福祉法》、これは画
期的な制度ではありましたが、それに盛り
込まれた13部門の施設の中に残念なが
らこの重症児は洩れていたのです。

小林先生のその後のご努力は重症児を
もつ親たちや社会を動かし、昭和36年

に重症心身障害児施設《島田療育園》が誕生したのであります。小林先生は請われて院長に就任、わが国の重症児療育の幕開けが始まりました。昭和34年には、後述する草野熊吉氏によって重症児施設の「秋津療育園」が東京に設置されますが、当時昭和38年には障害児福祉の問題でマスコミに大きく取り上げられた事件がありました。それは作家の水上勉の《拝啓池田内閣総理大臣殿》と言う文章で、これは水上勉のお嬢さんが障害をお持ちで、障害児に対する福祉があまりにも不備であることを訴えたものであります。それかあらぬか、厚生省もこの年次官通達をもって「重症心身障害児の療育について」を出し、施設入所の公費負担をおこなったのです。

現在、公私立の重症児施設は101施設を超え、国立療養所付属の重症児施設は78箇所、入所患者数はあわせて18000名弱となっております。このような発展の原点は小林先生に負うところまことに大なるものがあります。先生は学生時代結核にかかれ、そのころキリスト教に入られたそうですが、その宗教的信念は後の島田療育園の労働組合運動が起るに及んで、断腸の思いで院長職を辞することになりますが、その後生涯をかけて重症児の指導にあたられました。生前私どもの「希望の家」にも2度おいでになりご指導をいただきました。

次に医師でない方で小林先生と同じころ障害児のために献身的な努力をされた

方をご紹介したいと思います。

糸賀一雄（1914～1968）

鳥取県出身で、旧制松江高等学校理科甲類（現島根大）から京都大学哲学科卒業、氏は旧制松江高等学校の学生時代、結核で2年も休学され、その時キリスト教に入信された。私も、旧制松本高校で結核に悩まされ休学の苦い体験があるので他人事とは思えないものがあります。その後滋賀県庁に入り26歳で秘書課長になるが、昭和21年県庁を去り、太平洋戦争後の混乱期に社会から見捨てられた戦災孤児、浮浪児、精神薄弱児の施設「近江学園」を設立した。其の恵まれないこれらの子供たちを救うことが祖国再建の道であると考え、「一隅を照らす灯」になることを決意した。彼は、当時の貧しい福祉政策の中で、厳しい悪条件と戦いながら学園の充実をはかり、さらに年長精薄児のための職業訓練施設や重症心身障害児の施設など7カ所を設立したのです。

彼の思想の根底にあるものは、一貫してキリスト教主義に基づく宗教哲学とも言うべく、彼の主張した「この子らを世の光に」がまさしくそのものズバリであり、わが国の障害児教育のパイオニアとして多くの人材をそだてました。

この間、厚生省の中央児童福祉審議会、精神薄弱者福祉審議会等の委員として活躍し、「手をつなぐ親の会」の全日本精神薄弱者育成会理事、昭和41年「朝日賞」社会奉仕賞受賞、昭和43年、講演中に倒



れて死亡、余りにも早い死であった。

草野熊吉（1904～1999）

福島県の産、子供の頃万福寺という寺の娘で東京へ遊学していたテル子さんに時々遊んでもらっていたという。テル子さんは豊橋の寺へ嫁に行ったが、あるとき実家の寺に強盗が入って住職はじめ皆殺されたという。強盗は、赤貧洗うがごとき生活で何人かの子供がいたがこのテル子さんはこの孤児になった強盗の子どもを、嫁ぎ先の養護施設に、周囲の反対を押し切って、引き取って養育したという。このテル子さんの行為が幼い熊吉の生涯を決める強いインパクトになったのではないかと想像される。熊吉は子供の頃足を捻挫して郡山の病院に入院してそこでアキスリングというアメリカの宣教師に出会った。上京してアキスリング家に同居しつつ、牧師の下で貧民支援を手伝った。アキスリング牧師は二食主義で一食は、恵まれない人に分けるのを実践していたという。

アキスリング牧師はやがて、草野氏に群馬県草津のハンセン氏病の療養所で働く事を指示した。そこでは、メアリー・コンウォール・リー女史の下で、ハンセン氏病患者の世話を続けた。ちなみにリー女史は、1855年英国貴族として生まれ英国聖公会の宣教師として来日し、草津温泉のハンセン氏病患者の救済に一生を捧げ1941年死亡。草津の聖公会墓地に葬られている。草野氏はその後、草津から大阪十三貧民街でクロスビー女史の

セツルメント運動に従事する。そこで賀川豊彦や西田天香の一灯園の奉仕活動にも参加した。その後再び東京のアキスリング家に帰りそこで正式に基督教に受洗し、障害児の御世話に専心した。やがて昭和34年に秋津療育園を開設し21人の重症心身障害児を預かることになる。重症心身障害児施設「秋津療育園」の発足であります。

以上3名の方を簡単に紹介させていただきましたが、偶然とはいえ、さきの明治の社会福祉活動家である留岡幸助、石井十次の2名、昭和になって重症児の為に働いた小林提樹、糸賀一雄、草野熊吉の3名も含めて全部熱心なクリスチャンであったことです。

これらの事を考えると、私は、日本の社会福祉事業は基督教によってのみ支えられていた感すら抱かざるを得ないのです。

ローターアクト月間に寄せて



ローターアクト海外研修報告

慈愛の心は国境を越えて!!

国際ロータリー第2840地区

ローターアクト委員長 宮澤 孝幸

「慈愛の種を播きましょう！」を研修テーマとして、地区RA海外研修が、2月8日～11日まで本年度RI会長ビチャイ・ラタクル氏の国、タイに於いて行なわれました。

参加者は、北爪地区代表をはじめとするローターアクター13名、川生新世代奉仕委員長そして私で計15名でした。

2月8日(土) 異国の地でのボランティア活動に燃える若きアクター達の「夢と希望と慈愛の心」を乗せた翼JAL703便は、16:00に成田を飛び立ちました。

タイ国際空港(ドンムアン空港)へは、20:55(日本時間は+2時間)に到着し、入国手続を済ませ、そのまま私達の滞在先、クラウンプラザホテルへ22:40にチェックインをしました。そして夜も遅かったので、明日のボランティア活動に備えて就寝しました。

2月9日(日)9:00にホテルを出発し、バンコク市内にある孤児院「チャイルドプロテクション ファンデーション」を訪問しました。(この施設は公設で、4才～16才までの子供達が男女半数ずつ計60名位います。)

そこで私達は、ローターアクター達が皆で集めた日本からの古着と5,000パーツ(日本円で約15,000円)を贈呈しました。

そして、アクター達が日本の遊びとして用意した「コマ・折紙・シャボン玉・ヨーヨー・紙風船・フリスビー・ビーチボール・etc」などで子供達と交流を図りました。

私達が訪問中にもいくつかの団体が、ジュース・お米・お菓子などを持って施設を訪れましたが、子供達と一緒に遊んだのは私達だけでした。

遊びが始まると、子供達の瞳はキラキラと輝いてきました。この子供達にとって一番必要だったのは、『物ではなく楽しく遊んであげるという行為と愛情(慈愛の心)である』ということをつくづく感じることができました。

そうした子供達と別れを惜しみつつ、施設を後にしました。

昼食は、ゴールドティーク レストランでバイキングでした。

タイは「仏教と水の都」ですので、午後は異文化視察ということで、王宮・・・(特にワット・プラケオ)・ワット・ポーを見学しました。

そこで私達は、仏教に対するタイの人達の信仰心の深さとタイ建築の技術の素晴らしさを実感することができました。

その後、チョットの時間ショッピングタイムを取りました。

夕食は、高崎北RACの会員であります、



タイから新島学園短期大学に留学している「ネイ」さんのお宅に招待していただきました。

(「ネイ」さんは今回の研修にあたり、海外研修実行委員長の高崎北 RAC 市川さんと共に、タイに於けるボランティア活動の訪問先、また現地 RC とのコンタクト等を取ってくれました)

バンコク市内の「ネイ」さんのお宅の門を入った瞬間、私達は驚きました。

そこには、とびっきりの笑顔で「ネイ」さんの家族をはじめ親戚の人達、そして「ネイ」さんの友人、約 50 名位の人達が私達研修生一人一人に生花で作ったレイを掛けてくれ、歓迎してくれたからです。そして「ネイ」さんから、『うちの母は日本人が大好きです』と聞き、さらに感激してしまいました。

家に入ると、「ネイ」さんのお父様が、一日がかりで心を込めて作ってくれた手料理が、大きなテーブルの上に所狭しと沢山並んでいました。タイ料理をはじめ、南国フルーツ(マンゴスチン・ライチー・マンゴー・バナナ等)があり、バナナも非常に甘みがありとても美味しかったです。

そうした御馳走を囲みながら、言葉の壁はあっても心に国境はなく、皆で楽しく時の過ぎるのも忘れ、予定を 30 分もオーバー

して交流を深めることができました。

2月10日(月)いよいよ今日は、RID3350 地区 DUSIT RC の例会訪問です。例会会場は、バンコク市内のインドラ リージェント ホテルです。

私達は 10:00 に出発し、例会会場へと向いました。

例会会場へは、11:00 に到着しました。

点鐘時間まで 1 時間半位ありましたので、



ホテルの中を散策し、例会場もちょっと覗いてみました。するとそこには、各テーブルの上のバナースタンドには、タイ王国と日本国のペア国旗が数多く飾られており、私達を歓迎してくれている気持ちが伝わってきました。

12:30 点鐘となり、DUSIT RC の会長 Mr. SOMBOON SIRITRAKULCHAI が挨拶し、北爪地区代表が私達一人一人を紹介し、大変な歓迎を受けました。

(因にタイのロータリアンの出席数は約 50 名位。DUSIT RC は全員出席)

そして、川生新世代奉仕委員長が矢野ガバナーからのメッセージを読み上げ、私が「今回の研修の目的・タイでの奉仕活動について・そして受け入れてくれた RC への感謝とお礼」を述べました。

その後、RID3350 地区 7 クラブ
(DUSIT RC YANNAWA RC BANGKOK
- VIBHAVADI RC DHONBURI - WEST RC



PHRA NAKHON RC PHRA PINKLAO -
DHONBURI RC SRAPATHUM RC) と、
RID2840 地区 9 クラブ (館林ミレニアム
RC 桐生西 RC 高崎北 RC 伊勢崎 RC
桐生 RC 前橋 RC 太田 RC 渋川
RC 沼田 RC) とのバナー交換が行なわれ
ました。

さらに例会終了後、別室にて RID3350 地区の各クラブのロータリアン 8 名と、私達研修生との間で話し合いが持たれ、「またタイに来る予定があるか? 皆さんの職業は何

か? どんな奉仕活動をしているか? タイのローターアクトについて」等の意見交換が 1 時間半に亘りなされました。

そして、矢野ガバナーに宜しく伝えて下さいとのことでした。

その後、私達は 15:00 にインドラ リージェント ホテルを後に、次の訪問先である「マハメック ホーム フォーボーイ」へと向いました。(ここは男子だけの孤児院で、年少組約 100 名位)

そこには、

YANNAWA RC の会長
エレクト Mr . SH
INPAT SET
ABODI をはじめ
とした、ロータリア
ン 6 名の人達が、孤
児達と共に私達を迎
えてくれました。

途中バスにアクシ
デントが生じ、予定
より遅れたため、子
供達と一緒に遊ぶこ
とは残念ながらでき
ませんでした。日
本からの古着と

5,000 バーツ、日本

のオモチャを贈呈しました。子供たちからは、お礼にとタイダンスのショーをプレゼントしていただきました。そして、子供達の夕食の時間になったため、アクター達は子供達一人一人に食事を運んで上げ、大変喜んでいただくことができました。

夜は、YANNAWA RC のロータリアンとの夕食会が、シルバーパレス レストランにて行なわれました。

そこには、RID3350 地区のバスターガバナー、Mr . KRIANGPET THO



NGBORISOOT、YANNAWA RC パスト会長の Mr. TANAT APIJIRAPHOKEE をはじめとした、13名のロータリアンが出席して下さり、タイと日本の RC について、また RID2560 地区、新発田 RC の高橋パスト会長を良く存じているというタイのロータリアンもいて、話が大いに盛り上がりました。

そして、矢野ガバナーにくれぐれも宜しくとのことでした。

さらに、近いうちに RI 会長ピチャイ・ラタクル氏が例会にお見えになるので、私達のことでも宜しく伝えてくれるとのことでした。

2月11日(火) 5:00、モーニングコール。ホテル 6:00 出発。空港へは、6:30 到着。そしてタイの素晴らしい人達との楽しい思い出と感動を心に刻み、JAL708 便は 8:35 バンコク国際空港を離陸しました。成田には 16:00 到着。帰国手続を終え、16:50 解散となりました。

今回の海外研修は、市川 暁 実行委員長を中心に、研修先の検討、そして現地でのスケジュールの企画立案、タイの RC との打合せ等、全てアクターが行ないました。幸

いにも、前述したタイからの留学生、「ネイ」さんがいてくれたため、大変協力していただくこともできました。

RA の活動指標の一つに、「国際理解につとめ、世界の平和に寄与しよう」という言葉がありますが、若いアクターが世界のロータリアンと接することにより、ロータリーの素晴らしさを認識しつつ、国際感覚を養うこともできることでしょう。

貴重な体験をなるべく早くもつことにより、人生観、世界観もより大きく広がっていくことでしょう。

現在、イラクや北朝鮮問題等で国際情勢が緊迫している中で、若者達が国境を越え、異国のの人々と親睦を図り、相互理解を深めることにより、時には戦争すら回避し、平和な国際社会を構築する事も出来ると思います。

そういった意味に於いても、RA の海外研修は必要不可欠の事業であると思われます。『慈愛の種が播かれ、それが芽を出し、やがて実を結ぶ日も必ず来ることでしょう』

今回のプロジェクトが、皆様からご支援とご協力をいただき、大成功を収められたことに対しまして、全ての関係者の方々に心から感謝とお礼を申し上げます。



第2回 会員増強・退会防止と地区拡大セミナー



2月16日、桐生プリオパレスに於いて、RIMZC 高橋文夫様（PG山形北ロータリークラブ）をお迎えし、第2回会員増強・退会防止と地区拡大セミナーが100名の参加にて開催されました。

矢野亨ガバナー挨拶、役員紹介、アナハイム帰りの森田均ガバナーエレクトの挨拶、RIメンバーシップゾーンコーディネーター高橋文夫様の講話、「人間誰しも楽しんで良い結果を得たいものだと思いますが、これは墮落の道に繋がると私は思っているからです。せめてロータリーだけでも正常な路を堂々と闊歩したい。ですからこの素晴らしい「ロータリー哲学」に惚れ込んでこれを発展させたい、の一念から申し上げる訳です。世界中が非行、不正、粉飾、金権が全ての社会から脱却してノーマルな社会を創造するのがロータリーの理念であります。だから「ロータリーの哲学」を広く社会に流布するために組織の強化、拡大を図らなければなりません。チャレンジしている時こそ自分に誇りがもてます。皆でチャレンジして誇りを持って取り組みたいものです。時代の変化の激しい又厳しい、今こそ原点に返って見直す必要がありま

す。1905年ポール・ハリスの、クラブ創設時の経緯を振り返れば、当時の荒んだ社会、荒廃した商業道德を立て直すことを考え異なる職業の3人に呼びかけ、ビジネス上の発展、社会浄化、商業道德の確立と地域社会への奉仕活動を実施し、自己の職業の安定を基本として発足しました。

職業の安定は顧客満足が基本で、高い職業倫理と相互信頼、つまりロータリーで唱える職業奉仕の実践が不可欠であります。」講話より

RIMZC 高橋文夫様の輝かしい職歴およびロータリー歴から説得力の有る講話でした。

佐藤弘地区拡大委員長の富岡かぶらRCの設立経過説明。矢野年度早々8/4の第1回会員増強・退会防止と地区拡大セミナーでの新クラブ設立予定から12/3創立総会、3/3チャーターナイト迄の活動努力と苦労話、休憩をはさんで会員増強退会防止委員会新井良雄委員長の軽妙な司会進行で意見交換。各地区で会員減少傾向の中、当地区特筆すべきは新クラブ設立、伝統ある前橋クラブに女性会員の誕生。RI2840地区全体として会員数維持に新井委員長が各クラブの努力に感謝しながらも夢を持って前進そしてもう一段の御協力を御願いし終了。

最後に根本地区幹事より地区の予算を預かる立場の者として森田年度の地区運営の尚一層の御協力を御願いしてセミナー終了。

御協力ありがとうございました。

（クラブ奉仕担当副幹事 堀口信行 記）



会員増強セミナー講演

今、ロータリーは何故増強拡大なのか

RIMZC 高橋 文夫 (山形北RC)



国際ロータリーでは1996年頃から、会員の減少が始まりました。121万3千余のピークから2000年には、118万会員にまで落ち込みました。

このような背景の中、2001年のシカゴの規定審議会における決議01-658号で、2005年に創立100周年を迎える100年祭までに、150万人の会員目標を承認する決議案が採択されましたことはご承知のとおりであります。

これを受けて前年度キングRI会長は、「グローバル・クエスト」運動を展開され毎月1クラブ1名の純増を呼びかけられ、2002年5月24日現在、全世界の会員数は、1,235,173名に達しました。今年度ビチャイ・ラタクルRI会長は、「グローバル・クエスト」は継続実施し、今年度はボトムアップでクラブの活性化を図り、年間1クラブ5名の純増を呼びかけられ、各種会合・行事で強調され強力に実施中であります。

歴史は繰り返すと申しますが、1930年

代も世界的大不況と大戦のハザマで1931年には18クラブが消え、続いて32年には新しいクラブよりも、失ったクラブ数が多くなり、その数27クラブに及び、2千を超える会員を失った記録があります。

それから70年を経た現在を見ますと、文明・文化の進歩、科学技術の進歩によって物質的には比較にならない豊かさで生活を楽しんでいますが、豊かさゆえの頹廃から心の痛みが増加し心の豊かさが失われて、政治・経済・社会のあらゆる分野で、腐敗・不祥事・モラルの頹廃が続出しております。特に目立つ企業の不祥事は枚挙に暇が無いほど次々と報じられ、企業を揺るがす大事件として企業倫理が大きく取り上げられています。法令遵守(コンプライアンス)が企業の命運を決すると言っても過言ではない時代になったのです。

その一部を考えると、企業が大型化して競争力、管理能力、コストダウン、経営効率、占有率が高まり安定成長に結びつくといわれています。しかしその反面合併による「リストラ」が平然と行われ、結果的に市場占有率が高まり、競争原理が効せずアメリカのカリフォルニアで起きた電力会社の破綻に見られる社会の混乱、産業の停滞と国民生活を不安に陥れた例もあります。

きめ細かいサービスが行き届かず顧客の利便性が低下。市内スーパーの不採算店舗が閉鎖して近所の高齢者所帯が困っている例もあります。

企業合併で選別排除された中小下請け会社

の倒産とか、そして常に企業の統廃合が実施される社会不安、雇用不安が増大し、貧富の格差が拡大し、犯罪の増加、紛争の種が増えます。「競争こそ進歩を生む」とよく言われますが、現在のような過当競争が良い社会を齎すとは思えません。かつての日本のよき伝統は、企業においては「終身雇用」に見られる「社員は家族」という経営手法が「戦後50年の驚異的な経済大国を生み、世界の注目を浴びた時期がありましたが、競争と共生が並存する多元的社会こそ今求められていると思っていますし、競争だけでよい社会が出来るとは思いません。又一極集中より地方分権・分散、地方自治で住みよい社会・国土づくりが叫ばれています。産業構造の改変も97.3%の中小企業を抱える日本の産業構造は中小企業を抜きしては成り立ちません。又恣意的な規制緩和も不公正の助長を図るのみで、影の官僚統制が社会を暗くするのみだと思えます。

競合の激化は「優勝劣敗」社会が現出し「ロータリーの精神」は抹殺されます。

最近アメリカの景気後退が注目されてきました。原因はアメリカ資本主義の構造問題が露呈して、巨大な産業界が信頼を失墜しました。先に「エンロン」最大のエネルギー会社が不良債権隠しで倒産し、グローバル・クロッシング社通信会社が不正経理で破綻し連邦破産法を申請、「ワールドコム」通信会社が粉飾決算で、85,000人の全従業員の内17,000人をリストラして更生法を申請した、と報じています。オープンで透明化が計られ、フェアで信頼の置けるはずのアメリカ企業、グローバルで効率的なアメリカ企業のはずが、この様な不祥事がぞくぞくと出てきました。コンサル業務と会計事務所の世界ビッグ5の「アンダーソン」も不正経理の指

処で発揮して、ロータリーの存在感を示して頂きたい。これが私の願いであります。

翻ってロータリー活動を省みますと、ややもすれば私たちはロータリーの論理を「教条主義的」に固執する愚を犯し勝ちですが、示唆にとんだ言葉を思い出します。

それは1934年のデトロイト大会で、ハロルド・T・トーマス氏(1959~60RI会長)が理事会より提案されたある制定案に反対して、「私は、ロータリーの驚くべき成長の主たる原因の一つであり、おそらく現在のロータリーの威力の要となっていると言うものは、その適応性であり、融通性であり、そしてあらゆる儀礼的な堅苦しい形式主義にとらわれない、その性格であると終始確信していた。言葉の意味のニュアンスについて、極めて些細なことをあげつらう論争は儀礼的、形式的に過ぎる嫌いがある、ロータリーの精神とは異質のものである」と説いています。時代の変化の激しい今こそ特に心すべきことで含蓄にとんだ言葉だと思っております。

何故この様な話をするのか、とお思いでしょうがロータリーも今同じ思想の規制緩和を昨年の規定審査会で採択しました。

人間誰も楽にして良い結果を得たいものだと思いますが、これは墮落の道に繋がると私は思っているからです。せめてロータリーだけでも正常な路を堂々と闊歩したい。ですからこの素晴らしい「ロータリー哲学」に惚れ込んでこれを発展させたい、の一念から申し上げる訳です。世界中が非行、不正、粉飾、金権が全ての社会から脱却してノーマルな社会を創造するのがロータリーの理念であります。だから「ロータリーの哲学」を広く社会に流布するために組織の強化、拡大を図らなければなりません。チャレンジしている時こ



導と、不正を見逃した罪で告発され解散の憂き目にあっております。

こうした背景を考えれば「職業宣言」「四つのテスト」の実践を標榜する「ロータリー」の存在が貴重になり、今社会が求めているのはこのような活動ではないか。まさに出番が到来したと考えられます。

私たちロータリアンは職業倫理を高め、職業を通して奉仕の理想を鼓吹・育成・実践して、その目的を達成しようと活動を続けている集団でもあります。今こそ、この意識に共鳴する友人をより多く仲間にする努力は、共鳴のバイブレーションを引き起こし拡大し、組織の強化に繋がりを持たせ、会員の増強を図って世直しのスタートにしなければならない。これが「グローバル・クエスト」の真意だと思っております。是非皆さんのお力を此そ自分に誇りがもてます。皆でチャレンジして誇りを持って取り組みたいものです。

コロンビア大学社会学教授のハーバート・J・ギャンズ氏は「平等の欲求と理念」という論文の中で、経済部門でも「経済ももっと、民主化、社会化、平等化されなくてはならない。企業は消費者、従業員、および一般大衆に奉仕すると言う、今までは企業の経営要綱には無かった倫理精神・同類精神を持って経営され、又企業活動に伴う社会的なもの、或いは必要でないと思われるような間接的な経費さえも負担するようにしなければならない」と説いています。まさにロータリー精神そのものであります。

地球の人口は昨年61億3千百万人に達しました「国際ロータリー」は世界中のポリオ撲滅のために、そのうち20億人にワクチンを投与し、此処22年ほどWHO、ユニセフその他多くの関係団体と協力し、ロータリアン120万人の力を結集し協力してまいりま

した。間もなくその目的を達成しようとしております。

わずか世界の人口0.02%のロータリアンがこの力を発揮したのです。この実績は私たちに自信と気概を齎しました。

そこで、私たちはもう一度クラブ活動を、原点に戻って見直す必要があります。1905年ポール・ハリスの、クラブ創設時の経緯を振り返れば、当時の荒んだ社会、荒廃した商業道徳を立て直すことを考え異なる職業の3人に呼びかけ、ビジネス上の発展、社会浄化、商業道徳の確立と地域社会への奉仕活動を実施し、自己の職業の安定を基本として発足しました。

職業の安定は顧客満足が基本で、高い職業倫理と相互信頼、つまりロータリーで唱える職業奉仕の実践が不可欠であります。

以下活動のポイントを絞って要点を述べてみます。

1. クラブ地域のニーズの調査をして、地域と密着した活動計画を立てます。
2. クラブの現況調査、意識調査、会員のニーズ調査、をして過去の会員入退会の内容調査を実施します
3. クラブを活性化のための会合を開き、対応の検討を行います。
4. 職業分類の調査を行い、地域にマッチした職業分類を選定します。「職業別電話帳の活用等」(地域的に相違あり、実体把握できない場合に適用)
5. 具体的な増強・拡大の目標設定と、役割分担を決めます。
6. 目的意識を植え付けるためのフォーラムを何回も開きます。何よりも地域の人がロータリーを認識していただく努力が一番大切です。
7. クラブを楽しみ例会にする為、運営をど

うするかの変革も大事な要因です。

8. 奉仕活動に興味を持って貰う為の、奉仕活動指針等作成できれば、推進が容易になると思います。

以上述べましたが、実行は容易ではありません。熱意を持つ、楽しくやる仕組みが一番大切で、楽しいから、得るものがあるから、人は集います、此処からクラブが蘇えます。衆知を集めて楽しいクラブを作り、前進しようではありませんか。ロータリアンは綱領・R定款に反しない限り自由に自己の意見を主張し行動が出来るのです。日本の良い慣習を生かして地域の繁栄から先ず始めましょう。このことによって「グローバル・クエスト」運動も必ず150万人の会員目標を達成し、究極の目的である世界平和を目指して、有終の美を飾り、真に豊かで平和な世界の実現に向けて努力し、前進できると信じております。

高橋 文夫氏 プロフィール



ロータリー インターナショナル
メンバーシップ ゾーンコー
ディネーター
(RIMZC)

略歴

生年月日 昭和3年2月27日
所属クラブ 山形北ロータリークラブ
現職 東北電化工業株式会社 代表取締役会長

職歴

1975年 東北電化工業(株) 代表取締役社長
1996年 " 代表取締役会長
現在に至る
1992年 アイホ-ト(株) 代表取締役社長 "
山形協同電気(株) 代表取締役社長 "
山形電業協会 会長 "
1996年 システムエンジニアリング(株)
代表取締役会長 "

1989年 昭和オートリス山形(株) 代表取締役社長 "
1992年 (株)ケーブルテレビ山形 代表取締役副社長
2001年 (株)バーチャルシティ山形 代表取締役会長
1983年 山形県電気工事工業組合 理事長 "
" 山形県電気工事技術協会 会長 "
" 全日本電気工事工業組合連合会
理事長 "
1986年 山形県建設産業団体連合会 副会長 "
1987年 山形県消防設備保守協会 会長 "
1987年 山形商工会議所 常議員 "
1991年 山形県中小企業団体中央会 理事 "
" (社)山形法人会 理事 "
" 建設大臣 表彰
" 消防庁長官 表彰
1987年 山形県職業能力開発協会会長 表彰
1990年 東北七県電気工事工業組合連合会長 表彰
1990年 法務大臣 表彰
1993年 全日本電気工事工業組合連合会長 表彰
1994年 東北通商局長表彰 電気保安功労者
1995年 " 中央会組合功労者
1996年 "

山形市しあわせ貿易M会長

1993年 資源エネルギー庁長官 表彰
1997年 通商産業大臣 表彰
1998年 山形商工会議所 副会頭
1999年 内閣総理大臣 表彰
" 労働大臣 表彰

ロータリー歴

1972年 山形北RC入会
1979年 " 幹事
1986年 第253地区GSE特別委員会委員
1987年 ポール・ハリス・フェロー
1990年 山形北RC会長
1991年 米山功労者(4回)
1992年 第2800地区5分区代理
1992年 マルチプル・フェロー()
1993年 第2800地区財団年次寄付小委員長
1994年 マルチプル・フェロー()
1998~99年度 RID 2800地区 ガバナー
1999年 マルチプル・フェロー(12回)



会員増強・退会防止と 地区拡大セミナープログラム

2003年2月16日(日)

於：桐生プリオパレス

司会地区副幹事 堀口信行 (桐生西)

13:30 ~ 13:50

挨拶 ガバナー 矢野 亨 (桐生西)

地区役員紹介

13:50 ~ 14:00

エレクト挨拶 森田 均 (渋川)



14:00 ~ 15:00

講演 R I M Z C

高橋 文夫 様 (山形北)

15:00 ~ 15:30 質疑応答

15:30 ~ 15:40

富岡かぶら R C 設立経過説明

佐藤 弘 (富岡中央)

(チャーターナイトご案内)

15:40 ~ 15:50 休憩

15:50 ~ 16:50 意見交換と討論

リーダー クラブ奉仕大委員長

曾我 隆一 (前橋)

ディスカッション サブリーダー

司会進行

担当委員長

新井 良雄 (太田南)

ディスカッション サブリーダー

佐藤 弘 (富岡中央)

ディスカッション サブリーダー

菊地 雅子 (桐生中央)

16:50 ~ 17:00 お願い 地区幹事

根本 正則 (桐生西)

閉会

17:00 ~ 17:40 懇親会

司会 地区副幹事 堀口 信行 (桐生西)

開会 挨拶・乾杯

ガバナー 矢野 亨 (桐生西)

クラブ奉仕委員会大委員長

曾我隆一 (前橋 RC)



本日は日曜日にも関わらず地区の第二回会員増強、退会防止と地区拡大セミナーにご参加頂きまして誠にありがとうございます。

昨年の8月4日には高崎ビューホテルにて年度スタートに当たっての方向づけを主眼として、渡邊RIMZCを研修リーダーを迎えて開催いたしました。

その後の成果、経過につきましてはそれぞれの委員長さんからもご報告があろうと存じますが、大変厳しい経済、社会環境の中で会員数も2300人を若干上回る水準を保つことができ、新クラブ設立では佐藤拡大委員長のお骨折りで、3月3日にはめでたく富岡か

ぶらクラブがチャーターナイトを迎える事ができました。また、私の所属クラブのことで恐縮ですが、前橋クラブの50年の歴史上始めて女性会員が先月誕生致しました。

ことは羊年です。大変化の中いろいろな時代のキーワードが言われていますが、その中でも、「波乱」と「自立」、そして「選択」と「集中」の年だとする人が多いと思います。羊の漢字に大、大きいを下に加えれば「美しい」という字になります。

今まで先送りしてきたあらゆる懸案事項が今年の前半にはその方向、結論づけを迫られ、やがて後半には一筋の光明を見いだせるように是非ありたいと願ってます。

今回のセミナーには研修リーダーとしてRIMZCの高橋文夫PGをお迎えしています。今日は前述の観点で、矢野年度の会員増強委員長さんと次年度森田年度の各クラブ会長エレクトさんにご出席頂き、まだ矢野年度5ヶ月余り残していますが、年度内の残された仕事の遂行と次年度の課題について限られた時間内ですが、研修なされて、クラブ運営に参考にして頂ければ幸いです、

本日はご出席本当にありがとうございました。



クラブ奉仕委員会
会員増強退会防止
委員会委員長
新井良雄
(太田南RC)

本日はご多用の所御出席たまわり有難うございます。
会員増強退会防止に対し各クラブ会長、

担当役員、委員長の皆様には大変なるご尽力を頂き有難うございます。RIのテーマ「慈愛の種を播きましょう」のもと「ロータリーは他人に対する奉仕を通じての親睦という機会を提供するものでそして心に訴える単純な呼びかけが相手を動かす」とビチャイ・ラタクル会長が申しています。RIMSゾーンコーディネーター渡邊 隆氏は「まず貴方が辞めない事が大切です」と申しています。

御蔭さまで2840地区は矢野ガバナーのもと各クラブのご努力で減少が微減で推移しております各人の意識と奉仕の心、そして友情によりまして今後も会員増強にお力添えを宜しくお願い致します。

14年11月29日大阪でのゾーンミーティングにラタクル会長がみえ女性会員について「私は女性会員に対して私自身あまり考えていなかったこれからは女性も会員としてどんどん入会をしていただきたく皆様の協力をお願い致します」と申していました。世の中の景気もどの業種も大転換期に来ていると思いますでも「この世で起きた事はこの世で治まる」のも事実です。皆様方のご努力に敬意を表すとともにこれからも会員増強と退会防止をあきらめずをお願い申し上げます。



クラブ奉仕委員会
地区拡大委員長
佐藤 弘
(富岡中央RC)

今年度上半期の拡大委員会の報告をさせて頂きます。



清年度より進めてきた第3分区の富岡中央ロータリークラブがスポンサーとなり、新クラブを立ち上げようという気運になり、昨年3月頃、新クラブ設立準備委員会が発足しました。

準備委員長には田島正夫君が選出され、特別代表には野村圀典君が清ガバナ-より4月25日に委嘱状が渡されました。

一方、伊原会長も新クラブ設立という大事業を重点項目の一つにし、クラブ全員が新クラブを立ち上げようと盛り上がってきました。

一方、準備委員会では新クラブ設立の基本的な事項を確認し翌日より募集を始めました。

募集の目標は50名と決めました。9月末日をもって〆切りました。

9月末の時点で約40名位を確保することが出来ました。その後推薦者と準備委員会、そして新入会員とで初の会合を開き、名称・例会場・例会日等、取り決めました。

名称は、『富岡かぶらロータリークラブ』と決めました。

11月12日にオリエンテーションを開き、11月19日には第一回の仮例会を開くことが出来ました。

そして12月3日には創立総会を矢野ガバナ-始め、地区役員・拡大委員皆様の出席を頂き、盛大に創立総会が出来ました。心より感謝申し上げます。

その時の会員数は、富岡中央ロータリークラブから2名の移籍者と入会者の28名で、計30名でした。創立総会が終わると同時に、RIへ加盟申請書を提出致しました。

幸い、1月15日にRIの理事会において加盟が承認されたとの連絡が入り、我々一同大変喜んでおるところです。今は、認証状の到

着を待つばかりです。

この2月は富岡かぶらロータリークラブのメンバー、そしてスポンサーである富岡中央ロータリークラブのメンバーが一致協力し、来る3月3日の認証状伝達式に向け、一丸となって頑張っております。

現在メンバーの人数は35名です。なんとか40名位にしようと、これ又頑張っております。

どうぞ3月3日には大勢の皆様のご来場、心よりお待ちしておりますので宜しくお願い致します。

皆さん本当に有難うございました。



クラブ奉仕委員会
女性会員特別増強
委員会委員長

菊地雅子

(桐生中央RC)

女性会員拡大の半期報告、その他

1996年をピークにRI全体の会員数は減りつつありますが、女性の会員数は徐々に増えてきています(現在日本では約2%、世界では約8%)。クラブ数は増加しています。世界的にはこのような傾向が見られています。男性が中心の社会ですが、女性の社会進出が増えてきていることの現れだと思います。欧米や中国など、世界を相手に仕事をしているロータリアンの皆さんたちは、女性の活躍を実感されていることだと思います。女性の経営者が増えてきていることを理解していただきたいと思います。世の中が変化していくように、RCも変わっていきます。女性会員の増加は自然の流れです。

2002年7月1日から2003年1月1日の半期だけをみますと、2840地区では、ロータリアン数2339名(女性58名含む)から2320名(女性54名)となり、19名(女性4名)の減少となっています。世界全体では、女性の割合が増えてきていますが、この半期だけをみますと2840地区では女性会員も減少しています。全体の流れとしては女性会員は徐々に増えると思いますが、女性の経営者の絶対数は少ないですから、女性会員も拡大の努力なしには増えないという危機感が必要と思われるます。

会員増強に関し、今年度の最も画期的な話題は、伝統ある前橋RCに女性が入会したことだと思います。現在の前橋RCは、会長・幹事さんが、女性の会員増強に関し、大変熱心で、お会いして、話をしているとその熱意が伝わってくるような方たちです。他のRCにとって、大変刺激的なことだと思います。これを契機に2840地区のRCの女性会員に対する見方、考え方が大きく変わることを願っています。

伝統は作っていくもの、変えていくもの、自然に変わるものです。21世紀は、適切な経営者であれば女性でも自然に受け入れられるRCに変わり、RCがますます繁栄していくことを願っています。

ロータリー広報担当と八社会の懇親会報告

広報・オンツープリスベーン委員会
清水正己(前橋西RC)



開催日・時間：2003年1月27日(月)
11:00~13:00

会場：群馬ロイヤルホテル9F

出席者：

ガバナー 矢野亨

クラブ奉仕委員長 曾我隆一

社会奉仕委員長 塚越裕子

広報・オンツープリスベーン委員長
豊泉清

広報・オンツープリスベーン委員
清水正己

地区幹事 仙田一夫

前橋西RC 竹内嘉一

上毛新聞 編集局次長 萩原哲様

朝日新聞 支局長 白石陽一様

毎日新聞 支局長 沢田均様

読売新聞 支局長 斎藤直人様

産経新聞 支局長 高橋一十六様

日経新聞 支局長 須貝道雄様

時事通信 支局長 小形道雄様

NHK 放送部長 鎌田常靖様

群馬テレビ 放送局長 伊藤春男様

エフエム群馬 放送部長 小林和夫様



報告事項

ロータリー広報の一環として、ガバナーとスタッフによる報道各社との懇談会が1月27日前橋市の群馬ロイヤルホテルで開催されました。

この懇談会は、ロータリーとその活動をより広く社会に伝え、一層の社会貢献を果たす目的で、群馬県内で報道に従事する新聞・通信・放送メディアの代表者の集いである「八社会」のメンバーとガバナー並びにスタッフが忌憚のない語り合いをするというもので、昨年清年度に於いて第一回が催されました。

二回目となった今回は、ロータリーを巡る一般論に留まらず、特に矢野年度の柱の一つであるこどもと教育問題について資料を用意し意見を求めました。

この中で報道側からはロータリーやその活動について依頼があれば当然取材するが、要は内容次第であること。世間が見て価値ある活動であることが必要。その意味でこども教育問題への取り組みはまさにタイムリーでメディアとしても関心を持っている。各社はいつも依頼に応ずる姿勢であるので、地域・分野それぞれの取材現場にその旨伝えて欲しい。

ロータリーについて理解も進んできたので、今後もコミュニケーションを滑らかにし一層理解を深めたい。等の意見を聞くことができました。



G S E 派遣チ-ム壮行会

G S E 派遣チーム壮行会が盛大に開催されました。

G S E チームは2月11日に訪問国フィリピンへ向けて出発し、3月11日に帰国の予定です。

日 時 平成15年2月2日
13:00~
会 場 ホテルメトロポリタン高崎
ルビーの間 7階

出席者名簿

2840 地区(群馬県)

ガバナー 矢野 亨
2840 地区幹事 根本 正則
副幹事 正田 恵一
副幹事 下井田 秀一
ロ-タリ-財団委員長 秋間 良憲
GSE 委員長 為谷 福一
GSE 委員 福田 朋英
GSE 委員 川堀 良治
派遣メンバー 新井 久絵
派遣メンバー 小林 美季

2560 地区(新潟県)

2560 地区幹事 笹川 豊
ロ-タリ-財団委員長 柴野 俊子
GSE 委員長 丸山 常彦
GSE 委員 長部 三郎
GSE 派遣チ-ムリ-ダ-

チャールズ・C・ストラットン

派遣メンバー 齋藤 賢司
派遣メンバー 島垣 裕一

13:00 開会

司会 川堀委員

開会宣言 柴野 R 財団委員長

ガバナー挨拶 矢野ガバナー

壮行の言葉 秋間 R 財団委員長

饒別並びに記念グッズ 贈呈

丸山：為谷委員長

G S E 派遣チーム代表挨拶

チームリーダー チャールズ・C・ストラットン 氏

チームメンバー抱負 メンバー

02-03 G S E 派遣メンバー紹介

<リーダー>

チャールズ・C・ストラットン
40才



くびき野創造教育研究所
I C A N 体験教室
第2560地区メンバーRC
高田ロータリークラブ

<メンバー>

島垣 裕一 37才
新潟総合学院・国際エアー・
リゾート専門学校 科長
第2560地区 スポンサー
新潟南ロータリークラブ



齋藤 賢司 28才
施設工業株式会社
環境プラント課
第2560地区 スポンサー
新潟東ロータリークラブ



新井 久絵 29才
群馬県庁(団体職員)企画部
情報政策課
第2840地区 スポンサー
新田ロータリークラブ



小林 美季 29才
社会福祉法人希望の家療育病
院 理学療法士
第2840地区 スポンサー
桐生西ロータリークラブ



2004～2005年度 RI2840地区(群馬県) ロータリー財団 国際親善奨学生申請の募集



2003～2004年度
ロータリー財団委員長
成塚和頼(太田南RC)

2004～2005年度ロータリー財団の活動のひとつとして国際親善奨学金申請の募集をいたします。

このプログラムはシェアシステムを通じて選択されたものです。清ガバナー年度に寄付された一般寄付の合計額の60%が地区財団活動資金(DDF=District Designated Fund)となり、それを矢野ガバナー年度で選択・募集し、森田ガバナー年度で選考し、2004～2005年度で実施する事になります。

各ロータリークラブの皆様には、その地域に向けて積極的に広報を行っていただき、より多くの学生に機会が与えられますようご努力いただきたいと思います。当委員会も地区内の多くの大学教育機関へ募集要項を送付し、広報に努めております。

各クラブでは下記A・B、2種類の国際親善奨学金に2名までの候補者を推薦することができます。優秀な学生が多数応募して下さるよう申請者をご指導下さい。申請書のお取り寄せ及び提出、奨学金全般に対するご質問は森田ガバナーエレクト事務所が窓口となっております。

1. 募集する国際親善奨学金の種類と人数

A. 1学年国際親善奨学金 2名

この奨学金は、1学年度海外で勉強しようとする学生に授与されるものです。奨学



金は往復旅費、授業料と学費、適切な生活費、そして財団によって指定された場合には語学研修費を含めて上限米貨 25,000 ドルを受け取るようになります。

B. マルチ・イヤー国際親善奨学金 2名

この奨学金は、2年間ほかの国で学位を取得しようとする学生に授与されます。財団は1年間につき一律米貨 12,500 ドルまたはその相当額を支給します。2年間で合計米貨 25,000 ドルとなります。

2. 申請資格・条件・提出書類 等

別表 - 1 参照

3. 申請者への注意事項

国際親善とロータリーへの理解

申請者はまず「国際親善」の意味を理解することが必要です。というのは、奨学生になったら親善大使としての役割を果たし、両国のより良い相互理解に貢献することが必要だからです。従って申請者としては、まず健康であり、学業あるいは職域で良好な成績を挙げていることは必須の条件ですが、それと同時に国際交流・国際平和についても理解を深めていることや、有能な指導者となる可能性があることも求められています。また、当地区では、当然のことながら、ロータリーに対する理解が申請者には求められます。

修学期間終了後について

帰国後は、ホストロータリークラブと連携しながら留学で得た体験を何らかの形で地元還元することに努力して下さい。

留学先について

留学できる国としては、原則としてロータリークラブのある国に限られています。

志望教育機関について

申請者には志望教育機関を第1志望から第5希望まで記入してもらいますが、その決定はロータリー財団が行います。つまりロータリー財団としては、より多くの地域に親善学生を振り分けたいと考えているからです。尚、留学先の国際事情や受入体制

については、申請者自身で調査して下さい。

留学期間の延長

以前から留学生の中で、修了証や学位取得のため、滞在を延長することが見受けられますが、奨学生には一切延期が認められていません。学位を取得したい人はマルチ・イヤー奨学金が適しています。

語学力について

従来から親善大使として適任であると認められる申請者の中には、語学力が不足で留学生になれない場合があります。ぜひ留学先の語学については十分に力をつけて頂きたいと思います。

4. 支給上限額について

奨学金について、それぞれ示した上限額を上回る費用がかかる場合は、その不足分は奨学生の自己負担となります。申請者は志望教育機関を選択する際に費用の点も十分調査しなくてはなりません。財団では、1年間の費用が上限以下であると認める大リストを発表していますので、必要ならガバナーエレクト事務所にお問い合わせ下さい。また奨学金は本人分に限られます。家族同伴の場合は、その分は自己負担になります。

5. 募集要項

2003年

6月 2日(月) ロータリークラブへの申請締切

6月16日(月) 地区への申請締切

8月10日(日) 選考試験(予定)

10月 1日(水) ロータリー財団

最終受理日

12月15日以降 ロータリー財団から

の承認受理日

2004年

7月3日以降 就学年度開始

6. 申請書類の請求と問い合わせ先

書類の申請や問い合わせは下記へお願いします。

国際ロータリー第2840地区(群馬県) 森田ガバナーエレクト事務所

〒377-0007
 群馬県渋川市石原144-1
 (協) 渋川電気センタービル2F
 TEL 0279(30)2840
 FAX 0279(30)2841
 Eメール morita@rid2840.net
 URL http://www.rid2840.net

提出書類について

どの奨学金の申請についても共通のロータリー指定申請書を使用してください。奨学金申請書とそれに添付する書類は、タイプ印字で各一通提出してください。記入は日本語であっても差し支えありませんが、添付書類には志望する国の言語への翻訳が必要な場合があります。小論文の課題は1学年後、マルチ・イヤーは申請書の3ページ記載されています。1学年度、マルチ・イヤーの申請書志望教育機関の大学名は第1から第5まで5つが、

大学の学部に対応するものも併せて記述されなくてはなりません。また過去において、6ヶ月以上滞在したか留学したことのある都市、州、地方の教育機関を志望することはできません。

「申請者の契約」のページに必ず署名をしてから提出してください。

英語圏の国に留学を希望する1学年度、マルチ・イヤー奨学生候補者は、申請書と一緒に「TOFEL」のテストを受け、173点以上の成績証明書が必要。英語圏以外の希望の場合は、ベルリッツAのテストを受け、申請書と一緒に提出して下さい。「ロータリークラブの確認」のページがあります。地区へ書類を提出される際、その欄にもれなくご記入下さい。また、顧問ロータリアンは必ずお決め下さい。提出書類一式についてはクラブはコピーを保管しておいて下さい。

別表 - 1 申請資格・条件・提出書類等

種類	資格	支給上限額	条件	提出する書類(各1通)
1学年度 奨学生 (2名)	a.奨学生の年度が始まるまでに、2年の大学課程を終了していること。 b.または、高卒以上で専門職業の就労経験が2年以上あること。 上記a.b.どちらかで良い。 c.ホスト国の言語の読み書きができ、かつ流暢に話せる。	US \$ 25,000	当2840地区(群馬県)に居住している日本人であること。(一時的に居住していない場合は条件に適合すること) ロータリアン(名誉会員)でないこと。その配偶者、直系卑属、尊属でないこと。直系卑属の配偶者でないこと。 RCや地区が実施する面接試験に応じること。 奨学期間終了後、派遣地区に戻ることに。 国際ロータリー職員でないこと。 財団管理委員会が指定する教育機関で勉強研究を行うこと。 学位や修了証取得のために就学期間を延長しないこと。 その他 国際親善奨学金資料参照	・奨学金申請書 ・語学力証明書 (申請書綴込みP5-6又はP7-8) ・教育者又は勤務先の雇い主/上司2名の推薦状 (申請書綴込みP9-10又はP11-12) ・小論文 (申請書P3又はP14参照1,2,3全て) ・小論文の翻訳 ・大学(又は高校/専門学校)の成績証明書 ・その他 詳しくは申請書参照
マルチ イヤー 奨学生 (2年)	資格a.c.共通 d.成績が良く学位を取得しようとする学生であること。	US \$ 25,000 1年につき US \$ 12,500		



RID2840 茶の湯倶楽部 第6回研修会

西尾 仁志（前橋西）

茶の湯倶楽部の第6回研修会が2月2日(日曜日)午後2時半より、桐生崇禅寺において開催されました。一昨年発足した茶の湯倶楽部も3年目を迎え、研修会も6回目を数

える事となりまして。今回の研修会は、恒例のガバナ-輩出地区での開催という事で桐生市川内町の万松



山崇禅寺を会場に矢野亨ガバナ-をはじめ県下12クラブ39名のロータリアンの参加を得ての開催となりました。

今回は、武者小路千家 佐伯江南斎宗匠、前群馬県教育委員長 福田日出子先生を来賓と

してお迎えいたしました。佐伯宗匠は、RID2660地区大阪心斎橋ロータリー-のメンバーでもあり、2660地区の茶の湯倶楽部の統括としても活発な活動を展開されています。また、福田日出子先生は、茶の湯の祖、千利休の祖先は田中一族、新田一族の同族でそのルーツは上州にあることを立証された方です。

矢野ガバナ-、佐伯宗匠、福田日出子先生にご挨拶を頂いた後、2席設けられた茶席に移動して研修茶会が行われました。

第一席は本堂において佐伯江南斎宗匠による献茶を拝見しました。献茶式の張りつめた空気と宗匠の見事なお手前に、参加者は過去の研修会にはない緊張感を味わったようでした。その後天目台で薄茶を頂くという貴重な体験もさせていただきました。

第2席は、武者小路千家家元による「春の声」のお軸、結び柳に神楽鈴というはなやいだ初釜のしつらえのもと、なごやかに薄茶を頂きました。

その後、懇親会が行われ予定どおり午後5時半に散会しました。



今回の桐生地区での開催にあたっては、ガバナ-事務所、茶の湯倶楽部東毛地区世話人井本上輔様をはじめ桐生西クラブの

メンバーの皆様に、多大なご協力を頂きましたことを、改めて深謝いたします。

「マイトリー学園にロータリー文庫開設」

2002年10月18～20日のRID2840地区、地区大会ゴルフのチャリティー募金の中から、オープニングセレモニーに76名の園児が出演。その記念に図書を贈呈。

2003年2月10日 矢野亨ガバナー、星野幸男資金委員、根本地区幹事、鈴木理之桐生西RC会長出席のもと、マイトリー学園大間々南幼稚園 岩間恒子園長と数人の園児の参加でささやかな贈呈式、園児達の「新しい沢山のご本ありがとうございます」という嬉しそうなはずんだ声に心なごんだひとときでした。





ローターアクト例会訪問記録

報告者 松本 博(太田RC)

訪問クラブ 伊勢崎RAC

日時 平成14年11月21日(木)

19時00分~21時00分

会場 クレインパークホテル山楽荘

感想

身障者との交流と支援を積極的に取組むボランティア活動のすばらしいクラブです。手話教室例会も和やかな内に終わってしまいました。又、親クラブの伊勢崎RC、伊勢崎南RCと複数のRCに支えられて環境にも恵まれたアクトクラブです。高いレベルとさらなる活躍を期待いたします。

出席者 合計22名

伊勢崎RC 2名/伊勢崎南RC 2名
/地区RC 3名

伊勢崎RAC 6名/地区RA 7名/
講師・通訳 2名

米山奨学生選考会

準備委員会報告

開催日・時間:平成15年1月5日

15:00~18:00

会場:前橋東急イン

出席者:矢野亨ガバナー、高木貞一郎米山理事、関口隆パストガバナー、清章司パストガバナー、横山公一米山委員長、堀口靖之米山委員、鈴木海祐米山委員、根本正則地区幹事、星野幸男地区資金委員、片貝良一地区副幹事

報告事項

開会の辞 横山公一委員長

挨拶 矢野亨ガバナー

指針 高木貞一郎理事

議題

- 1 選考会面接グループ分けについて
面接委員を2グループに分けて面接することにし、Aグループは矢野G、高木理事、清PG、野辺委員、堀口委員、Bグループは関口PG、横山委員長、鈴木委員、根本地区幹事、星野地区資金委員で構成することにした。AグループはYM担当で18名を面接し、BグループはYDとYU担当で16名を面接することにした。
- 2 面接会審査選考方法について
応募者34名、採用数22名(継続8名)新規採用数14名を確認し、審査方法を決定した。
- 3 例年行っている選考会前日の宿泊委員会は本年度は行わないこととした。選考会は1月26日(日)午前9時より受付開始、10時より面接を開始することにした。
- 4 今後の米山委員会関連行事の確認を行った。
3月2日(日)午前9時30分 米山歓送会、午後1時より米山奨学セミナー
5月25日(日)米山奨学生オリエンテーション
6月15日 午前 米山学友会総会
午後米山委員会引継
- 5 その他
閉会の辞 根本正則地区幹事
片貝良一記(米山奨学担当副幹事)

米山奨学生選考会

開催日・時間：平成15年1月26日(日)

会場：前橋東急イン

出席者：矢野亨ガバナー、高木貞一郎米山理事、関口隆パストガバナー、清章司パストガバナー、横山公一米山委員長、堀口靖之米山委員、鈴木海祐米山委員、根本正則地区幹事、星野幸男地区資金委員、片貝良一地区副幹事

報告事項

午前9時より応募者の受付を開始した。

出席委員は選考方法の確認を行った。

午前10時より面接を開始した。各応募者につき20分の面接を行った。応募者1名が欠席した。

午後4時30分より面接結果に基づいて合格者、補欠合格者を決定する委員会を開催した。その結果、YD3名、YM7名、YU4名、合計14名の合格者と、補欠合格者5名を決定した。

片貝良一記(米山奨学担当副幹事)

第1回教育問題シンポジウム 打合せ会報告

開催日・時間：2003年2月17日(月)

16:00~18:00

会場：矢野ガバナー事務所 会議室

出席者：

前文部省生涯学習局長

群馬県立女子大学長 富岡賢治様

ガバナー 矢野 亨

社会奉仕委員長 塚越裕子

(所用で欠席)

新世代奉仕委員長 川生 宏

地区幹事 根本正則

地区副幹事 鳥嶋隆一

地区副幹事 金子福松

報告事項：

矢野ガバナーより「第2840地区における教育問題への取り組み」の一環として、社会奉仕委員会と新世代奉仕委員会は合同で、<教育問題シンポジウム>を開催するよう要望があり、その第1回の打合せ会が行われました。

予定としては、

開催日時：2003年4月29日(祝日)

12:30 開場

13:00 開演

16:00 閉会

開催場所：群馬県民会館 小ホール

テーマ：<こども達の教育はいま>

講演者：総括講演として富岡賢治様

他の講演者は未定

シンポジウム形式がよいか、講演会形式がよいか、未だ検討の余地があり、講演者によっても変わると思います。

開催に当たっては、地区内各ロータリークラブの社会奉仕委員会、新世代奉仕委員会を中心に、ロータリアン及びご家族に特にご協力をお願いし、又、教育関係者、社会一般の方々へも広く参加を呼びかけて行くことになりました。

具体的に明細が決定次第、各クラブへご案内致しますので、その節は宜しくお願い申し上げます。

金子福松記(社会奉仕担当副幹事)

第2回シンポジウム打合せ

教育問題講演会のお知らせ

<こども達の教育はいま>

場所：群馬県民会館 小ホール 499人

日付：2003年4月29日(祝日)

時間：12:30 開場



13:00 開演

16:00 閉会

講演者予定

北村 邦夫

(社)日本家族協会クリニック 所長

若者達の"性"が危ない

講演50分 討論及び発言10分

明石 要一

千葉大学教育学部教授

附属教育実践総合センター長

教育からみた"食"と"街づくり"

講演50分 討論及び発言10分

富岡 賢治

前文部省生涯学習局長

群馬県立女子大学長

いま教育の在り方を問う 講演50分

RIニュースから

広報調査にご協力ください

RIでは、国際社会におけるロータリーの知名度を高め、国際連合その他の国際組織と連携・協力を推進するために、「国際社会におけるロータリーの知名度」という広報調査を実施しています。

本調査の日本語書式はRIホームページにありますので、ご利用ください。

http://www.rotary.org/surveys/visibility_survey_ja.html

..... 文 庫 通 信 (185号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブの事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

興味ある講演より

「男女の機微」 渡辺淳一 2002 2 p (D.2530 地区大会)

「上杉鷹山に学ぶ危機を乗り切る条件」 蛮門冬二 2002 6 p (D.2570 地区大会)

「日本人の心とことば」 岡野弘彦 2002 12 p (D.2550 地区大会)

「美しく力強いニッポンの再生への提言」 福岡政行 2001 6 p (D.2650 IM)

「日本語のみだれ」 阿川弘之 2002 12 p (D.2690 地区大会)

「21世紀の環境問題」 加藤尚武 2002 11 p (D.2690 地区大会)

「これからの東南アジアと日本」 恩田宗 2001 24 p (D.2620 地区大会)

「戦後日本の忘れ物」 西原春夫 2002 9 p (D.2810 地区大会講演)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL. (03) 3433-6456 FAX. (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介



高橋優一郎

富岡ロータリークラブ
入会年月日：2003年1月29日
職業分類：総合保険代理業
勤務先：
（株）ジェイ・ケイ・プラン
役職：代表取締役
推薦者：今井 義一



塙 麻左

前橋中央ロータリークラブ
入会日：2002年12月25日
職業分類：和装創作
勤務先：塙きもの学院
塙エンタープライズ
役職：家元
推薦者：稲木 愛子



水谷 勇

館林東ロータリークラブ
入会年月日：2003年1月1日
職業分類：マンション経営
勤務先：ミズタニインターメディ
エーション
役職：代表取締役
推薦者：橋本 弘美

謹んでご冥福をお祈りいたします



亀井徳之殿

新田ロータリークラブ
逝去日：2002年11月23日
（59歳）
ロータリー歴：
昭和58年7月13日入会
ポール・ハリス・フェロー



深須久男殿

新田ロータリークラブ
逝去日：2002年12月2日
（53歳）
ロータリー歴：
平成1年9月1日入会



相崎奎二殿

太田ロータリークラブ
逝去日：2003年1月27日逝去
（享年89歳）
ロータリー歴：
1956年11月入会
チャーターメンバー



鈴木俊博殿

太田ロータリークラブ
逝去日：2002年7月18日逝去
（享年52歳）
事業所：大鈴メリヤス工業(株)
代表取締役
ロータリー歴：
1995年7月1日入会

第2840地区 2003年1月出席報告

クラブ数	会員数				
	1月初	1月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
47	2,320	2,366	46	57	86.59

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			月初	月末	増減	女性				月初	月末	増減	女性		
第1分地区	前橋	4	94.77	99	102	3	1	第3分地区	富岡中央	4	87.21	44	44	0	0
	前橋西	4	100.00	69	69	0	0		高崎シフォニー	4	84.04	52	52	0	3
	前橋東	4	90.46	71	71	0	0		碓氷安中	4	69.16	31	30	-1	3
	前橋北	2	84.57	62	63	1	3		高崎セントラル	4	81.70	43	43	0	0
	前橋南	4	94.88	41	39	-2	0		藤岡南	4	78.75	34	36	2	4
	前橋中央	4	95.89	41	39	-2	5		富岡かぶら	7	74.50	0	35	35	1
	合計(6クラブ)		93.43	383	383	0	9		合計(14クラブ)		83.66	648	685	37	20
第2分地区	桐生	3	81.54	69	69	0	0	第4分地区	太田	4	90.45	98	96	-2	0
	伊勢崎	4	88.43	71	73	2	0		館林	4	87.66	58	58	0	0
	桐生南	4	79.35	53	52	-1	2		大泉	4	91.50	54	55	1	2
	群馬境	4	93.34	49	49	0	3		太田西	4	82.05	41	39	-2	1
	桐生西	4	92.55	64	65	1	0		太田南	3	88.30	53	54	1	0
	伊勢崎中央	4	83.93	59	59	0	0		館林西	4	81.25	23	29	6	0
	伊勢崎南	4	87.81	41	41	0	1		新田	4	79.17	34	34	0	0
	桐生中央	4	80.75	38	38	0	5		館林東	4	81.67	31	32	1	1
	伊勢崎東	3	85.96	39	38	-1	1		太田中央	4	83.33	36	36	0	3
	桐生赤城	4	90.93	44	43	-1	2		館林シニアム	4	83.33	31	32	1	0
	合計(10クラブ)		86.46	527	527	0	14		合計(10クラブ)		84.87	459	465	6	7
第3分地区	高崎	3	95.23	74	74	0	0	第5分地区	渋川	4	89.62	74	74	0	2
	高崎南	4	94.54	73	73	0	3		沼田	4	88.13	58	59	1	0
	富岡	4	98.14	57	58	1	3		草津	4	85.75	28	29	1	2
	藤岡	4	88.60	59	59	0	2		水上	4	87.50	8	8	0	0
	安中	4	70.60	37	37	0	0		中之条	3	94.79	28	28	0	1
	高崎北	4	85.38	63	63	0	0		沼田中央	4	89.75	62	63	1	0
	藤岡北	4	69.11	20	20	0	1		渋川みどり	4	88.96	45	45	0	2
	高崎東	4	94.22	61	61	0	0		合計(7クラブ)		89.21	303	306	3	7

3月の行事予定

- 3月1～2日 RA研修会(横浜)
- 3月1日 R財団セミナー
- 3月2日 米山歓送会・米山奨学セミナー
- 3月8日 桐生RC50周年
- 3月16日 碓氷安中RC5周年
- 3月16日 青少年交換派遣学生
オリエンテーション
- 3月20～24日 IA海外研修(台湾)
- 3月22～23日 PETS

3月のロータリー・レートは
1ドル 122円です

印刷用紙について

月信は見開きになりますので両面に印刷してください。インクジェットプリンタの場合、裏面ににじみまますのでインクジェット用両面印刷用紙をお勧めします。レーザープリンタ、コピーの場合は普通紙でも可です。